リップアートメイク施術説明・同意書

1. 施術について

リップアートメイクは、専用の針等を用いて唇の皮膚に色素を注入し、唇の色調や輪郭を整える施術です。通常の化粧とは異なり洗顔等では落ちませんが、時間の経過、代謝、生活習慣、紫外線等の影響により徐々に薄くなります。

発色•色味•形•色素の定着•持続期間には個人差があり、希望する仕上がりを完全に保証するものではありません。また、元の唇の色、皮膚の状態、体質等により発色に差が生じます。希望する仕上がりに近づけるため、複数回の施術が必要となる場合があります。

2. 施術後の経過

施術直後～翌日

腫れ、赤み、ヒリヒリ感、熱感等が生じることがあります。施術直後は色素が濃く、鮮やかに見える場合があります。

2～7日程度

乾燥、薄いかさぶた、皮むけ等が生じ、徐々に色が薄くなります。皮むけの途中では一時的に色むらがあるように見えることがあります。

1～4週間程度

皮膚の回復とともに色味が徐々になじんでいきます。一度かなり薄くなったように感じた後、色がなじんで見える場合もあります。

約1～2か月

色素が定着し、最終的な色味や濃さを評価する時期となります。定着には個人差があり、色むらや左右差等が残る場合があります。

※上記は一般的な経過の目安であり、治癒や色素の定着には個人差があります。

3. 副作用・合併症・リスク

施術に伴い、疼痛、出血、腫れ、赤み、熱感、かゆみ、乾燥、皮むけ、かさぶた、内出血等が生じることがあります。

また、感染、化膿、アレルギー反応、接触皮膚炎、色むら、にじみ、変色•退色、左右差、瘢痕、ケロイド等が生じる可能性があります。

施術による刺激をきっかけに**口唇ヘルペスが発症・再発する可能性**があります。口唇ヘルペスの既往がある方は、必ず事前に申告してください。必要に応じて医師の判断により予防的な薬剤の使用等を検討する場合があります。

強い腫れや痛みが続く、発熱、膿、著しい発赤、水疱等の異常が認められた場合は、速やかに当院へご連絡ください。

※口唇ヘルペスと予防薬について

リップアートメイクの施術による刺激で、口唇ヘルペスが発症・再発することがあります。発症した場合、水疱やかさぶたなどが生じ、色素の定着に影響して、色ムラや一部の色抜けが起こる可能性があります。

発症リスクを軽減するため、事前のカウンセリングで既往歴などを確認し、医師の判断により抗ウイルス薬の予防内服（自費）をご案内することがあります。予防内服を行っても、発症を完全に防げるわけではありません。過去に口唇ヘルペスを発症したことがある方や、施術前に唇のピリピリ感・違和感・水疱などがある方は、必ずお申し出ください。

事前の処方を希望されなかった方も、施術後に症状が出た場合はご相談ください。医師の診察のうえ、保険診療でお薬を処方できます。

4. 禁忌・施術を延期または中止する場合

以下に該当する方は、状態によって施術を受けられない、または医師の判断により施術を延期•中止する場合があります。

•施術部位に感染、炎症、傷、皮膚疾患等がある方
•口唇ヘルペスを発症している方
•重度のアレルギーまたはアナフィラキシーの既往がある方
•使用する色素、麻酔薬、薬剤等に対してアレルギーがある方
•出血性疾患等により出血リスクが高い方
•免疫機能に影響する疾患がある、または免疫機能に影響する治療を受けている方
•重度のケロイド体質等、医師が施術によるリスクが高いと判断した方
•その他、診察の結果、医師が施術不適当と判断した方

また、**妊娠中・妊娠の可能性がある方、授乳中の方、治療中の疾患がある方、服薬中の方、アレルギー歴のある方、ケロイド体質の方、口唇ヘルペスの既往がある方**は、必ず事前に申告してください。
服薬中の場合は、自己判断で薬を中止せず、処方医または担当医にご相談ください。

5. 施術前の注意事項

•体調不良、発熱、唇の炎症、傷、口唇ヘルペス等がある場合は、事前にお申し出ください。
•既往歴、アレルギー歴、服薬状況について正確に申告してください。
•唇が極端に乾燥している場合や荒れている場合は、施術前から適切な保湿を行ってください。
•施術前後に美容医療、歯科治療、予防接種等の予定がある場合は、事前に医師へご相談ください。
•施術前日の過度な飲酒や、当日の激しい運動等、出血や体調に影響する行為はお控えください。
•服薬については自己判断で休薬•変更せず、必ず医師の指示に従ってください。

6. 施術後の注意事項

施術後は唇の皮膚が一時的に敏感な状態になります。色素の定着および感染予防のため、当院から説明された注意事項を守ってください。

•唇を必要以上に触ったり、こすったりしないでください。
•皮むけやかさぶたを無理に剥がさないでください。
•施術当日は必要以上に施術部位を濡らしたり、刺激を与えたりしないでください。
•施術後一定期間は、飲酒、激しい運動、サウナ、長時間の入浴、プール等、血行促進や感染リスクにつながる行為を控えてください。
•強い紫外線を避け、回復後も紫外線対策を行ってください。
•唇への刺激が強い化粧品、ピーリング剤等の使用は、皮膚が回復するまで控えてください。
•辛いもの、熱すぎるものなど、唇への刺激となる飲食物は状態に応じて控えてください。
•キス等、施術部位への強い接触は、皮膚が回復するまで控えてください。

具体的な制限期間については、施術後の状態に応じて医師•施術担当者の指示に従ってください。

7. 施術後のケア

•施術部位を清潔に保ってください。
•当院から保湿剤、軟膏、薬剤等について指示がある場合は、指示された方法•期間を守って使用してください。
•乾燥しても皮むけやかさぶたを剥がさず、自然に剥がれ落ちるのを待ってください。

•施術部位に触れる際は、手指を清潔にしてください。
•色素が定着するまで、一時的に色が濃い、薄い、まだらに見えることがあります。自己判断で刺激を加えず経過をみてください。
•口唇ヘルペスを疑う水疱、ピリピリとした痛み等が出現した場合は、早めに当院へご連絡ください。
•強い腫れ、強い痛み、膿、発熱、著しい発赤等がある場合は、速やかに当院へご連絡ください。

8. 仕上がり・修正・除去について

施術前に色•形等を確認しますが、元の唇の色や皮膚の状態、代謝、体質等により、発色や定着には個人差があります。左右差、色むら、希望した色との違い等が生じる可能性があります。
施術後に色や形を変更したい場合でも、直ちに元の状態へ戻すことはできません。修正または除去には別途治療が必要となる場合があり、完全に除去できない可能性や、費用•期間を要する可能性があります。

9. MRI検査について

アートメイクに使用される色素の種類や成分等によっては、**MRI検査の際に施術部位に熱感、刺激感、違和感等が生じたり、画像に影響を与えたりする可能性があります。**
MRI検査を受ける際は、必ず事前に検査を行う医療機関•担当者へ**リップアートメイクの施術歴があることを申告してください。**
アートメイクをしていることだけを理由にMRI検査が一律に受けられないというものではありません。検査の可否や対応については、MRI検査を実施する医療機関の判断に従ってください。

10. 写真撮影・個人情報について

診療記録および施術経過確認のため、適宜施術前後に写真を撮影する場合があります。写真をHP•SNS•院内掲示•患者様の説明に使用させていただくことがあります。（個人情報の保護には十分配慮いたします）

11. 同意確認

私は、リップアートメイクについて、施術内容、期待される効果と限界、施術後の経過、副作用•合併症•リスク、禁忌、施術前後の注意事項、アフターケア、MRI検査への影響、修正•除去等について十分な説明を受けました。
私は、発色•色味•形•定着•持続期間等には個人差があり、希望する結果が完全に保証されるものではないことを理解しました。
また、既往歴、アレルギー歴、服薬状況、妊娠•授乳の有無、口唇ヘルペスの既往その他施術の安全性に関係する情報について正確に申告します。
質問する機会があり、十分な説明を受け、内容を理解•納得したうえで、リップアートメイク施術を受けることに同意します。